

海外安全対策情報

【定期報告：1月～3月】

在ケープタウン領事事務所

1 西ケープ州における犯罪傾向

- (1) 観光客を狙った犯罪が多様化, 巧妙化しているため引き続き注意が必要である。
- (2) 在ケープタウン領事事務所管轄地域の2017年1月～3月における邦人に対する被害の報告件数は0件であった。

2 殺人・強盗等凶悪犯罪の事例

(1) 殺人

邦人被害

ア 邦人被害者情報なし。

その他の被害事件

ア 3月10日ケープタウン市リトリートで13歳の少女が自宅近くの店に買い物に出たところ誘拐された。21日、少女の死体が自宅近所の倉庫で発見され、同日、50歳の容疑者が逮捕された。

(2) 強盗

邦人被害

ア 邦人被害者情報なし。

その他の被害事件

ア 1月3日朝、警察の制服を着用し、警察車両に乗った強盗がケープタウン国際空港近くの肉屋に爆発物を持って押し入り、金銭を奪い、逃走した。

イ 1月7日夕方、プラムステッドにある店の店員が4人の強盗に銃を突きつけられ、金銭並びにタバコを奪われた。警察はそのうちの3人を逮捕したが、うち2人の年齢は10代であった。

ウ 2月3日、ケープタウンの観光地であるテーブルマウンテンで4人が強盗容疑で逮捕された。この強盗は祝祭シーズンにケープタウン地域でおきた他の容疑にもかけられている。

エ 2月10日午後4時ごろケープタウンの幹線道路であるN2の空港付近を走行していた車が2人の男に襲われた。コンクリートを使って運転手側の窓ガラスを割ると、運転手の脚や腰を探り、携帯電話やそのほかのものを探し、何もなかったことがわかったと逃

走した。被害者の女性はガラスの破片が目に入り、けがを負ったが命に別状はなかった。

オ 2月11日ケープタウン国際空港で6人の武装した強盗が800万ランド（約7000万円）相当の宝石類を奪い逃走した。被害者の男性はヨハネスブルクのオークションで4人の警備員に付き添われ、宝石類を購入し、ケープタウン空港で強盗に待ち伏せされたとみられている。

カ 3月17日午前、ケープタウン市ミュージエンバーグのショッピングセンターで、警備の現金保管庫が盗まれた。容疑者が所持していた拳銃が停まっていた乗用車のガラスにあたったが、幸いけが人は出なかった。

（2）強姦

邦人被害

ア 邦人被害者情報なし。

その他の被害事件

ア 特になし。

（4）その他

ア 1月11日、大規模な山火事が起き、サイモンズタウンでは立ち入り禁止となった住宅地もあった。住民や動物たちは黒煙が立ち上る中避難した。

イ 2月20日、ケープタウン市ミュージエンバーグで、強盗を追いかけた警察車両と強盗の乗った車両が衝突し、強盗犯の一人が死亡、その他の犯人、警官も重軽傷を追った。

3 テロ・爆弾事件発生状況

特になし。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

特になし

5 対日感情

概ね良好。

6 日系企業の安全に関する諸問題

特になし。

7 日本人安全対策のためにとった具体的措置

(1) 在留邦人へのお知らせ等の発出

不定期ながらも、安全対策に役立つ情報を当事務所より「領事事務所からのお知らせ」としてメールを発出し、在留邦人に対して安全対策情報を発信している。

(2) その他の措置

常日頃より、当地在住の邦人等との意見交換を行い、当地での生活の安全情報の収集に努めている。